

未来へ

 紀の川市議会だより

令和2年〔2020〕8月1日発行

No.54

笑顔

コロナウイルス対策を
とりながら

- (特集) 貴志川ウイソズ保護者会…………… P2
- 令和2年 第2回臨時会・第2回定例会…………… P4
- 委員会活動の報告…………… P10
- 追跡 あの質問、どうなったの?…………… P13

コロナに負けないぞ リモートでスイングチェック！

貴志川ウインズ保護者会×広報委員会



新型コロナウイルスの影響で学校が休校になり、子供たちの活動が制限されたため、少年野球も自粛することになっていました。

今回、6月1日からの学校再開と共に、貴志川ウインズの練習もコロナウイルス対策をしながら再開されるということで、保護者の方に取材をさせていただきました。

貴志川ウインズは、東貴志小学校と中貴志小学校の子供たちでチーム編成され、現在は部員数18名のチームとなっています。土・日・祝日は貴志川スポーツ公園ソフトボール場で、平日は東貴志小学校で活動しています。

保護者のお茶当番などもなく、アットホームな雰囲気で団結力があるのが特色のチームです。

朝から夏を思わせるような暑さの中、3ヶ月ぶりの練習が始まりました。

リモートを活用して

自主練習

— 学校の休業中、揃った練習ができなかった期間、子供たちはどうしていましたか？



取材風景

「坂道での走り込みや素振り、親子でキャッチボールなど、みんなが自主的に練習していました。」

「自主練習の様子を保護者のグループラインで報告し合っていたことで、会って一緒に練習できなくてもみんなつながっている、團結しているということを実感しました。」

親子で野球を楽しんで

コミュニケーション

— 少年野球へ入部したきっかけは？

「お兄ちゃんがやっていたから、自分もするものだと思っていたみ

たい。」

「本人がやりたいと言ったので。」

「父親がやっていたので、子供にもやらせたかった。」

「練習を見ていて、たまたまバットを振らせてもらったことがきっかけ。」

——お母さんたちからは、暑い、寒い、毎週試合あるし、お弁当も作らないといけないし大変、という声も多いと思いますが、野球をさせてみてどうですか？

「子供に接する時間が増えますね。毎週親子一緒にできるのは小学生まで。家族で参加できることが醍醐味です。入るまではいろいろ考えるけど、入ったらもう楽しくて。自分の子供だけじゃなく、みんなが成長していくのが見れて、やって良かったなと思います。時には早起きがしんどい時もありますけど、うまく手を抜きながら本当に楽しませてもらってます。試合に勝つとすごく嬉しいし、負けるとすごく悔しい。そんな気持ちをみんなで共有できることが嬉しいんです。」



みんな大きな声で

挨拶ができる子に

なった

——野球を始めて子供に変化はありましたか？

「礼儀を教えてもらって挨拶ができるようになり、家での返事も『はい』に変わりました。」

——市に要望はありますか？

「ボールが外に飛んでいかないように、東貴志小学校のフェンスを高くして欲しい。」

「貴志川スポーツ公園の2ヶ所あったトイレが1ヶ所になったので、不便になった。」



飛びつけ！

「グラウンド整備に使つ水が止まりやすいので直してもらえたら。」

「グラウンドの一部が砂場のようになっているので、土を固めて欲しい。」

子供たちが野球を続けやすい環境づくりのための声がありました。

目指せ甲子園

——貴志川ウインズのモットーは？

「野球は楽しい、という思いを持って、中学校へ行っても続けて欲しい。」

「指導者としては、野球は楽しかったという思い出を持って終わって欲しい。」



取材に協力してくれた保護者の方々

——残念ながら、今年の甲子園は春夏とも中止になりましたが、子供たちには、いつまで野球を続けて欲しいですか？

「高校生まで続けて欲しいです。紀三井寺で応援したい。テレビ和歌山の放送も見たいです。」

そう願うお父さんの夢が叶うといいですね。

(中村・森田)

【お問い合わせ】

貴志川ウインズ

代表 山田 昌宏さん

090-12356-1773

● 第2回臨時会 ● 第2回定例会 ●

こんなことが決まりました

臨時会 会期 1日間 5月21日
定例会 会期 15日間 6月4日～18日

臨時会の議案は

市長提出議案

・専決処分……………11件
・令和2年度補正予算……………2件

定例会の議案は

市長提出議案

・専決処分……………1件
・令和2年度補正予算……………3件
・条例の改正……………4件
・その他……………4件

すべての議案を

全会一致で可決しました。

11件に
注目!

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載しておりますので、その他の議案や結果につきましては、紀の川市議会ホームページをご覧ください。

(議案第76号) 令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第4号)について

1 鞆渚 公共施設建設遅れる

◎ 鞆渚地区公共施設等再編事業(9135万1千円)

鞆渚地区の出張所、診療所および消防施設を集約する施設の建設予定地について、埋蔵文化財の発掘調査や造成工事による軟弱地盤の改良を行います。それに伴い、令和3年度までの整備期間が4年度までに変更となりました。

こんな質問が出ました

Q

文化財調査や地盤改良の必要性は、当初から把握できていなかったのですか。

A

埋蔵文化財については、これまで発掘調査がされず、事前の確認調査を経なければ判断できませんでした。地盤については、地域で最も安全性の高い候補地でしたが、地質調査を行った結果、全体が軟弱地盤であることが判明したため、地盤改良工事を行うことになりました。



現場の地質調査

(報告第11号) 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第2号))
(議案第67号) 令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第3号) について

2

プラス1万円

◎特別定額給付金給付事業(62億215万1千円)
◎紀の川市特別定額給付金給付事業(6億1494万円)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民の家計を支援するため、国の特別定額給付金10万円に加え、市からも1人につき1万円を上乗せします。

こんな質問が出ました

Q なぜ1万円の上乗せとしたのですか。

A 少しでもお役に立てるよう、現在の財政調整基金(55億8千万円)の約1割を目途に1万円としました。

Q 給付金の申請書の発送や給付が遅れた理由は。

A システム構築と申請書の印刷、返信用封筒の作成、封入までの一連の作業を委託しましたが、早期の納入が困難だったためです。



手続き、忘れていませんか?

(議案第67号) 令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第3号) について

3

商工業者を支援

◎商工振興事業(1億3218万7千円)

新型コロナウイルス感染症拡大で経済的損失を受けている商工業者の経営支援として、売り上げが15%以上減少した市内小規模事業者、10万円の経営安定化給付金を給付します。

こんな質問が出ました

Q 対象となる小規模事業者とは。

A 商工会法で規定する業者で、常時雇用する従業員が、小売業・卸売業・サービス業などについては5人以下、宿泊業・娯楽業・製造業などについては20人以下の業者となります。

Q 15%の売り上げ減少を判断する書類は。

A 令和元年度の確定申告書のコピーや、売り上げが減少したことがわかる売り上げ差し引き帳簿が必要になります。



(報告第12号) 専決処分の承認を求めることについて(財産の取得について)

4

マスク135万枚の手配

◎マスク購入金額(6831万円)

補正予算第3号において、市内全世帯に対して50枚の不織布マスクを配布する補正予算が承認されました。予定価格2000万円以上の動産を買い入れる場合は、議会の議決を得る必要がありますが、緊急を要したため、専決処分としたものです。

こんな質問が出ました

Q マスク購入を随意契約としたのはなぜですか。

A いくつかの業者をあたりましたが、同一規格のマスクを135万枚入手できる業者はここしかありませんでした。唯一見つかった業者で、競合するところもありませんでした。

随意契約とは

地方公共団体などが、競争入札によらずに、任意で決定した相手と契約をするのこと。



全世帯に配布されたマスク

(議案第70号) 紀の川市国民健康保険条例の一部改正について
(議案第73号) 令和2年度紀の川市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)について

5

国保でも対応

◎傷病手当金支給事業(100万円)

被用者(雇われている人)のうち、新型コロナウイルス感染症に感染した方、または、発熱などの症状があり、感染が疑われる方に傷病手当を支給します。

こんな質問が出ました

Q 被用者以外の方がコロナウイルスに感染したり、その疑いがあつて仕事ができなかった場合の手当は出るのですか。

A 被用者以外は当てはまりません。国の財政支援の要件は、被用者に対して支給となっております。

Q 加入者(被保険者)と事業主への周知はどうするのですか。

A 市のHPやフェイスブック、広報紙「紀の川」に掲載します。事業主にも周知していきます。

傷病手当とは

療養中の生活保障として保険者から支払われる手当。



(報告第11号) 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第2号))

6

マスクと消毒液を配布

◎感染症対策事業(2752万9千円)

新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、保育所および小・中学校の園児・児童・生徒に市内業者が製作した布マスク2枚、教職員には不織布マスク14枚を配布しました。また、消毒用アルコールを保育所・学校・学童保育に配布、避難所に備蓄しました。

こんな質問が出ました

Q 子供用のマスクはなぜ布マスクなのですか。

A サイズがSSからLまであり、園児・児童・生徒の体格や顔の大きさで選択できることと、マスクの内側にポケットがあり、フィルター替わりになるガーゼなどを入れることができ、布マスクでも効果が十分発揮できる設計になっていることから採用しました。

Q 消毒用の薬剤とは。

A アルコール度70%の消毒液です。



保育士も子供も安全安心

(議案第76号) 令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第4号)について

7

災害時の避難所対策を万全に

◎感染症対策事業(661万5千円)

感染症の拡大防止策として、体調の悪い市民が避難する「発熱者等避難所」を南別館ホールに、「サブ発熱者等避難所」を打田以外の4地区に開設し、避難所の開設に必要な段ボール間仕切りや段ボールベッド、簡易トイレなどを購入します。

こんな質問が出ました

Q 購入物品の購入数と配置数は。

A 段ボール間仕切りは600枚で発熱者等避難所の拠点となる南別館に360枚、サブ発熱者等避難所4地区にそれぞれ60枚、段ボールベッドは50人分で、南別館に30人分、各地区に5人分、充電式簡易トイレは、10台で各2台の配置を予定しています。



段ボール間仕切り

(議案第76号) 令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第4号)について

8

公共施設に花束を

◎農業活動事業(408万8千円)

新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベントの自粛により、花きの需要が減少していることから、消費拡大を目的として、学校、保育所、幼稚園、福祉施設に花束を贈ります。

こんな質問が出ました

Q 市内に花き生産農家は何軒あるのですか。

A 約200軒あります。

Q この事業の実施時期は。

A 令和3年3月までに4回実施します。

Q 花の手配、花束の作製、施設への配送などはどうするのですか。

A JA紀の里に委託を考えています。



(議案第76号) 令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第4号)について

9

助成金申請手続きをスムーズに

◎雇用対策事業(35万円)

国の雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金の支給申請をした事業者が、社会保険労務士への手続きに要した経費を一部補助します。補助額は、支払った額の2分の1以内で、上限額は5万円です。

こんな質問が出ました

Q 希望する事業者が多く、予算を超過した場合、どう対処するのですか。

A 今後の動向を把握するのは困難な現状ですが、予算を上回る申請件数があれば、その時点での最善の方策を見極め対応していきます。



(議案第76号) 令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第4号)について

10

タブレット1人1台

- ◎小学校教育情報化事業(2億4626万5千円)
◎中学校教育情報化事業(1億1782万円)

国のスケジュールに合わせ、予定を早めてすべての児童生徒用端末や大型電子黒板などを導入し、令和3年度より運用を開始し、ICT教育を進めます。

こんな質問が出ました

Q

大型電子黒板の重量や教室内の配置など安全性は。また、機能や授業での活用方法は。

A

65インチで約80kgですが、安全性は確保しています。また、鮮明な映像と、直接書き込みができるなど、学習活動の向上に活用できます。

Q

機器の操作には、補助員が必要ですが、人員の確保はできるのですか。

A

国は4校に1名としています。が、市としても充実した補助員の確保に向けて取り組みます。



(議案第76号) 令和2年度紀の川市一般会計補正予算(第4号)について

11

ステイホームで読書

- ◎図書館運営事業(1107万3千円)

図書館における新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、図書消毒装置や「耳で聞く図書(オーディオブック)」の導入、移動図書館の開設準備をします。

こんな質問が出ました

Q

オーディオブックとは。

A

パソコンやスマートフォンで書籍の朗読を聞くことができるものです。

Q

移動図書館のルートや実施時期は。

A

ルートは、図書館まで遠い地域や利用の少ない地域を中心に、これから検討していきます。今後、車両や人員の確保が必要ですが、できるだけ早期の開始を考えています。



本を殺菌消毒する装置



委員会活動報告



各委員会では、議案の審査だけでなく、委員会に付託された市民生活に深く関わる
ことについて議会の閉会中も調査研究を行っています。
最近の活動状況についてお知らせします。

新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後の課題

新型コロナウイルス感染症対策について、各常任委員会が所管事務調査を行いました。

総務文教常任委員会 6月23日

Q. 特別定額給付金の申請書の発送が遅れた理由は。

A. できるだけ早く発送するために、職員で申請書の封入をすることを決め、送付ミスがないよう窓あき封筒の発注をしたが、すぐに手に入らず、納入が6月になるということで、最終的にはすべての作業を業者委託に切り替えた。全国的な事業だったので、業者からの納入が遅れ、6月8日の発送となった。遅れたことは大変申し訳なかったと思っている。

Q. 早く発送した他の自治体の対応から学ぶことがあるのでは。

A. 今回、給付金班を設置したが、もっと早い段階で対応していく必要があったと思う。



Q. 小中学校の修学旅行は未実施であるが、今後どうするのか。

A. コロナウイルスの感染状況を見ながら、日程や行き先の変更を検討する。

Q. 修学旅行のキャンセル料が発生した場合は、保護者負担ではなく、行政で補填を考えられないか。

A. 現時点では、行政補填するのは難しいが、関係機関と協議しながら前向きに検討する。

Q. 運動クラブをしている中学3年生にとっては、その成果を出す最後の年である。中体連の大会は中止となっているが、9月以降で、那賀地方だけでも大会実施できないか。

A. 開催は中体連の判断である。本委員会の意向を伝える。

Q. 新型コロナウイルスの感染が夏を過ぎても収束せず、冬に向けてインフルエンザの流行と重なった場合、学校保健室での対応はどのようなのか。

A. 初期症状の判別がつかない、あるいは高熱が出る場合など、保健室で養護教諭が診てから別室に移し、別の教員が付き添い、保護者に連絡するなどして対応する。



厚生常任委員会 6月30日

Q. ファミリーサポートセンターや児童福祉施設においてマスクの配布はしたが、消毒液はどうするのか。また、今後は。

A. 国から50万円の補助金が出るので、マスクや消毒液など必要な備品は各施設で購入することができる。

Q. 子育て世代包括支援センター運営事業において、感染症の重症化リスクが高い妊産婦に対する予防対策を講じた体制整備とは、具体的にはどのようなことを検討しているのか。

A. 国の2次補正で、オンライン対応の体制整備が追加されているため、ビデオ通話等の整備の検討を行っていく。

Q. 1世帯50枚のマスクの配布は終わったのか。

A. 6月29日に終わった。5日間にわたり、延べ355名の職員が、市民体育館で検品・封入を行ったが、不良品の混入、数量不足がでてしまった。その後サンプル検品を行ったところ、8%の不良品混入があったため、業者に交換させた。6月23日より、市HPで交換することを広報している。その後、新聞に、マスクの不良品の記事が載った。

Q. 福祉施設などでクラスターが発生した場合の対応や、消毒など行う場合の備品を備蓄しては。

A. 予算要求していく。



産業建設常任委員会 7月2日

Q. 経営安定化給付金の申請と支払いの状況は。

A. 6月末現在で450件の申請があり、400件の支払いが完了した。引き続き広報紙にて当制度の案内を周知していく。

Q. 桃の最盛期を迎え、直売所に多数のお客様が訪れる。密を防ぐべきでは。

A. 他府県から来られる方も多い。あら川の桃振興協議会へ再度感染予防の周知をする。



Q. 水道料金の基本料が6ヶ月免除されるが、今後感染が拡大した場合の追加支援策は考えているのか。

A. 水道事業は財政が厳しいのが現状である。状況を見て、財政部局と相談し支援策を検討していく。

Q. 市の工事を受注する業者で感染者が発生した場合、工事の中断もやむを得ないと思うが、工期はどう考えるのか。

A. 工期の延長も検討する。

産業建設常任委員会・総務文教常任委員会連合審査会 4月16日

・都市公園整備事業（市民プール隣接芝生公園）について

都市公園整備事業において、市民プール隣接芝生公園に遊具が設置されるにあたり、利用する子供たちやその家族が安全で快適に楽しめる公園になるように、直接現地を確認しながら担当部局に質疑を行いました。

「休憩ができるスペースはあるのか」「トイレは設置されるのか」「駐車場の安全性は確保されるのか」など、利用者の視点での意見や質問が多く出されました。担当部局からは、「意見を踏まえ、今後の計画に活かされる部分を精査し進めていく」と答弁がありました。



会議室での密をさけるため、屋外での会議

議会広報特別委員会

令和2年全国広報コンクールで受賞しました。

紀の川市議会だより「未来へ」第51号(2019年11月1日発行)が、令和2年全国広報コンクールにて見事「佳作」に選ばれました。

広報写真1枚写真部門での受賞です。



議会の新型コロナウイルス感染症対策



登壇席にはシールドを設置し、自席での発言者はマスクとフェイスシールドを着用

第2回臨時会、定例会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、本会議を縮小して開催しました。

議会審議をできるだけ短くするため、一般質問の自粛、委員会付託を省略し本会議での審議、職員の出席者を最小限にするなど、安全・安心・健康を最優先としました。

傍聴もできるだけ控えていただくようご協力をお願いし、大変ご迷惑をおかけしましたが、ご理解・ご協力をいただきましたこと、深く感謝いたします。

次回9月定例会

日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25	26	27	28	29
					本会議 (開会)	
30	31	9/1	2	3	4	5
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問・質疑・付託) 予算決算 常任委員会		
6	7	8	9	10	11	12
	予算決算 常任委員会 総務文教 分科会	予算決算 常任委員会 総務文教 分科会	予算決算 常任委員会 厚生分科会	予算決算 常任委員会 厚生分科会	予算決算 常任委員会 産業建設 分科会	
13	14	15	16	17	18	19
	予算決算 常任委員会 産業建設 分科会		総務文教 常任委員会	厚生 常任委員会	産業建設 常任委員会	
20	21	22	23	24	25	26
			予算決算 常任委員会			
27	28	29	30	10/1	2	3
		本会議 (閉会)				

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

傍聴に関するお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴者の座席数を減らします。

傍聴される方は、マスクの着用および手指消毒をお願いします。また、熱のある方、体調のすぐれない方の傍聴はお控えください。

大変ご迷惑をおかけしますが、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



電話でのお問い合わせもお受けしています。

●お問い合わせ…議会事務局
電話番号：0736-77-0860

追跡

ちょっとおしえて！

あの質問、どうなったの？

豪雨に備えて

合併してから何度も浸水被害を受けている。対策は。

答 弁

国に、紀の川・貴志川の河川改修などを要望していく。

その後

順次、対策は進んでいる

2012年 排水ポンプ車導入、市職員によるポンプ隊発足
2013年 6月 国・県と岩出井堰の現地視察
2015年 8月 つくば市で岩出井堰改良の模型を視察
2016年10月 岩出狭窄部対策事業始まる
2020年 岩出井堰拡幅水路完成、業者にポンプ隊業務委託



岩出狭窄部

藤崎狭窄部の整備を

紀の川左岸に位置する麻生津地区の堤防などが増水時に削られるのは、藤崎狭窄部の土砂堆積によるもので、その土砂のしゅんせつを国に早急に要望を。

※しゅんせつ…河川などの底面をさらって土砂などを取り去る工事

答 弁

国は、平成29年の大水害を受けて、岩出狭窄部対策事業を早期に完了し、藤崎については対策を順次検討すること。市としては岩出狭窄部対策を見据え、藤崎の早期対策を要望していく。

その後

予定より早まる

藤崎狭窄部対策について国は、令和2年度より麻生津橋下流の堆積土の撤去に着手し、その後、河川内にある小島の撤去を行い、完了後、藤崎井堰までの河道部掘削などを実施する。期間としては、おおむね12年～13年間の予定である。



藤崎狭窄部



Re:スタート

編集後記

令和2年も半分を過ぎ、新型コロナウイルス感染症のせいか、例年より時間が経つのが早い気がします。

長期の学校休業、各種イベントの中止、自粛要請による経済活動の悪化など、今まで経験していないことばかりで、これらの影響はまだ続くと思われます。

議会も感染症対策を講じながら会議を行い、市と一丸となつて、市民への感染症防止対策や、業者への経済対策を考え実施しています。

今回の新型コロナウイルス感染症は、「収束」に向かいつつあると思いますが、「終息」することはないのでと云われていて、コロナウイルスと共に生活するほかないと思われま。

世界中の人の知恵と知識で、コロナウイルスに恐れることなく生活できるようになるでしょう。その時が待ち遠しいです。

(榎本 喜之)

